

2021年2月10日(水)

「NO!三密プロジェクト」における 混雑情報提供のテレビ放送等の開始について

「持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会」(会長：坂村 健 INIAD東洋大学情報連携学部学部長)は、下記の通り、2021年2月12日より「NO!三密プロジェクト」を開始します。「NO!三密プロジェクト」では、都内重点地域及び生活エリアにおいて独自に収集した混雑情報を、集約・解析し、テレビ番組、専用Webサイト、アプリ等で情報発信いたします。

毎週月曜日及び金曜日には、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)のニュース情報番組『モーニングCROSS』の中で、情報発信を行います。

本プロジェクトでは、混雑情報をIoT(Internet of Things)技術を活用して収集する新たな取り組みも行います。都内重点地域に展開された端末において、COCOA(新型コロナウイルス接触確認アプリ)の発信するBluetooth Low Energyアダプタイズ信号を観測し、地域の混雑情報をリアルタイムに収集します。また、東京23区内の生活エリアのスーパー等の商業施設のPOSデータを集計し、地域の商業施設の混雑情報も収集します。本プロジェクトは、これらのデータを長期的に収集することにより、会員企業による混雑情報の利活用、混雑情報の将来的なオープンデータ化、AI技術等による混雑推定技術の研究開発にも繋げる計画です。

「持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会」は、2021年1月12日に創設された、民間企業・研究機関を会員とする協議会です。本協議会は、このような事業を通じて、コロナ禍の中での、三密状況を回避しながらの市民生活への貢献を目指します。

【事業名】 NO!三密プロジェクト

【番組等】 『モーニングCROSS』(毎週月～金曜 7:00～8:00 にTOKYO MX1で放送中)
毎週月曜日 及び 金曜日のコーナーにて実施

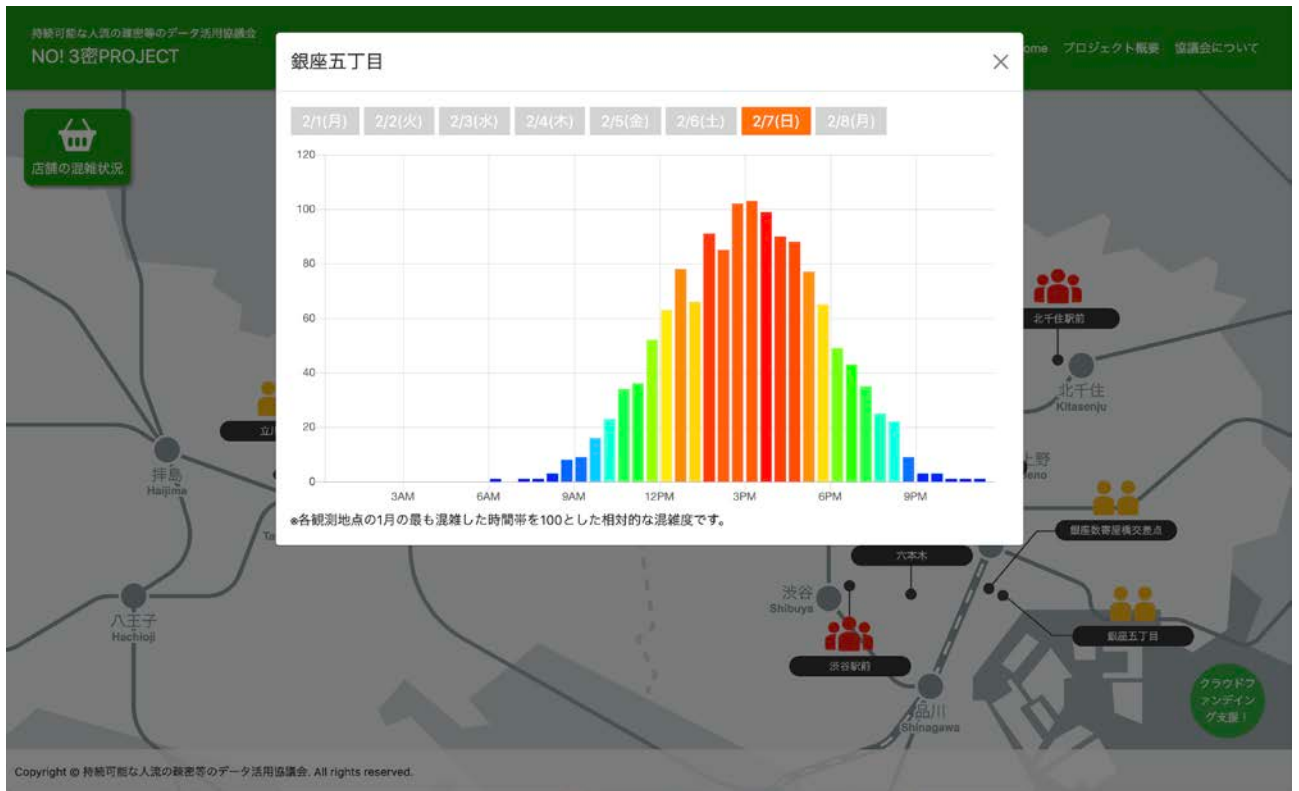
【開始日】 2021年2月12日(金)から3月31日(水)予定

- 【事業内容】
- ① 都内重点地域(渋谷、新宿、銀座、六本木など)に展開した端末において、COCOA(新型コロナウイルス接触確認アプリ)の発信するBluetooth Low Energyアダプタイズ信号から混雑情報をリアルタイムに収集する。
 - ② 東京23区内の生活エリアのスーパー等のPOSデータを定期的に集計し、地域の商業施設の混雑情報も収集する。
 - ③ これらのデータを集約・解析し、地域毎・時間毎の情報として、テレビ番組、専用Webサイト、アプリ等のマルチメディアで発信していく。
 - ④ これらのデータを長期的に収集し、混雑情報の会員企業による利活用、オープンデータ化、AI技術等による混雑推定技術の研究開発に繋げる。

※なお、本事業ではCOCOAの発する信号を副次的に計測しますが、COCOA自体と連携はしておらず、またCOCOAに関する情報も利用していません。

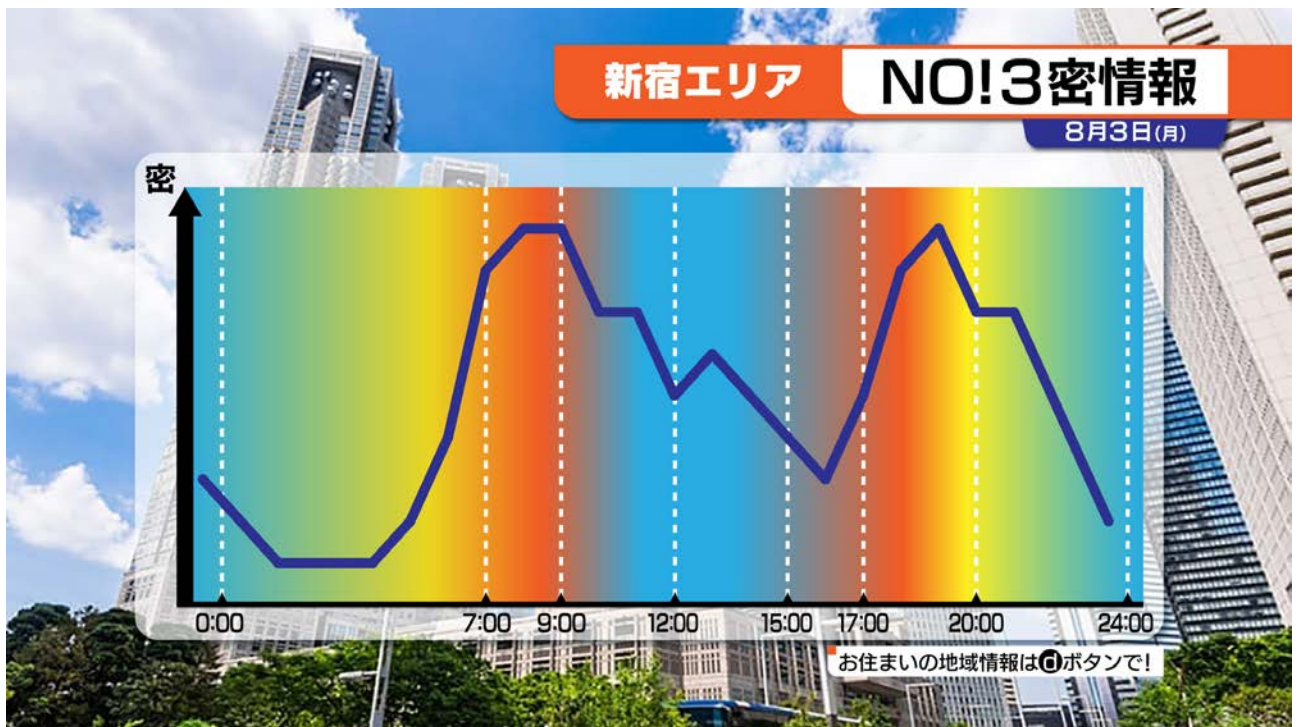
【Webサイト】 <https://www.no-sanmitsu.org/>

(次ページに続く)



図：「NO!三密プロジェクト」Webサイト表示例

銀座五丁目周辺に設置された端末で観測したCOCOA(新型コロナウイルス接触確認アプリ)のBluetooth Low Energyアダプタイズ信号により計測した混雑情報



図：『モーニングCROSS』番組イメージ

(次ページに続く)

<補足：「持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会」について>

「持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会」は、混雑情報をはじめとした人流の粗密等のデータを、様々な手段で収集・分析し、マルチメディアによる社会への情報発信に取り組むことを目的とし、2021年1月12日に創設された、民間企業・研究機関を会員とする協議会です。

【 会 員 】 INIAD cHUB(東洋大学情報連携学 学術実業連携機構)
株式会社きらぼし銀行
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
凸版印刷株式会社
日本マイクロソフト株式会社
ミュージックセキュリティーズ株式会社
森ビル株式会社
YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
ほか

【 会 長 】 坂村 健(INIAD東洋大学情報連携学部 学部長)

本件に関するお問い合わせ

持続可能な人流の疎密等のデータ活用協議会事務局(YRPユビキタス・ネットワーキング研究所内)
担当：新堂 E-mail:sdd-office@ubin.jp Tel:046-847-5220